

平成 30 年度子育て支援者等研修講座実施要項

- 1 趣 旨 家庭教育・子育て支援に関わる指導者等を対象に、講義や演習を取り入れた研修講座を実施することで、発達障害や児童虐待など、家庭教育や子育て支援に関する知識の習得、またコミュニケーション技法やあそびを通じた実践的指導力の向上を図る。
- 2 主 催 県立こどもの館
- 3 共 催 兵庫県教育委員会事務局社会教育課
尼崎市立すこやかプラザ（第 3・4 回は、共催になります。）
- 4 対 象 すべての教職員、子育て支援関係者
- 5 内 容 別紙「平成 30 年度子育て支援者等研修講座一覧」参照
- 6 申込について
 - (1) 受講料 無料
 - (2) 申込方法 インターネットによる申込み
 - ア 県立こどもの館 HP <http://kodomonoyakata.jp/> を開き、講座案内の「子育て支援者等研修講座」から PC またはスマートフォンにてお申し込みください。
 - ※ こどもの館 HP の右上にある「こどもの館メールマガジン」にご登録いただきますと、当研修会に係る緊急な連絡についても個別に受信することができます。
 - ご登録の際は、名前の前に当研修番号の 100 番をつけてください。
(例) 100 桜山花子 (数字は半角)
 - イ インターネット等環境のない方は、県立こどもの館までお問合せください。
 - (3) 申込締切 各講座開催日の 1 週間前まで(ただし定員になり次第、締め切ります。)
 - ※ 定員超過により受講できない場合は、電話にて連絡します。
 - (4) 特別警報発表等非常時の対応について
 - ア 研修実施日の午前 6 時に、特別警報（大雨、防風、暴風雪、大雪等）や特別警報に位置づけられる大津波警報等が兵庫県内に発表されている場合等は、研修を中止する場合があります。上記 HP とメールマガジンにてご連絡します。
 - イ その他の警報や自然災害等が発生した場合の受講については、所属長の指示に従ってください。
 - (5) 問合せ先 県立こどもの館 指導課（担当 上山）
〒671-2233 姫路市太市中 915-49
TEL079-266-3169 FAX079-266-4632

平成30年度子育て支援者等研修講座一覧

※ ()の数字は募集定員数

回	日程	主題・講師	会場	
1	7月15日(日)	10:00 ～12:00	【こどもを育むわらべうた】 NPO 法人神戸コダーイ芸術教育研究所 講師 横山 優子	神戸市総合児童センター(70名)
		内 容	自分にうたいかけられる心地よい響きの中で、人への信頼感と、人の声に耳を傾けることのできる力が育ちます。また成長に即した遊びの中で、自然と相手をしっかり見つめながら聴くという習慣がつかます。伝承の中にある子育ての知恵に着目しながら、子どもの幸せな音楽体験について考えましょう。	
		13:00 ～15:00	【音・言葉・動きで楽しむ親子と乳幼児の音楽遊び】 NPO 法人生涯音楽アカデミー 理事 山川 博史	
		内 容	音楽を用いて「見る・聞く・歌う・動く・感じる・描く・奏でる」など様々な感覚を使って楽しめる遊びを体験し、1つの方法論だけではなく‘私’だったらどのように実践していくのかを考えていきます。また、音楽はコミュニケーションツールの1つとしてとても有効な手段です。親子や子ども同士、保護者同士の関わりの促進させる音楽遊びを一緒に学びましょう。 【持ち物】動きやすい服装、上靴、小物楽器1つ タンブリン・鈴・カスタネット・トライアングル等(音階楽器以外の楽器)	
2	8月19日(日)	10:00 ～15:00	【コミュニケーションを再点検してスキルアップしよう】 オフィス福原 C&D HR Lab. 代表 福原 美砂	神戸市総合児童センター(70名)
		内 容	コミュニケーションで「大事なこと」は何でしょうか？上手にコミュニケーションがとれていますか？参加者同士によるペアやグループ演習および対話形式で、皆さんの事例も交えながら実践的に楽しく学びます。コーチングのプロと一緒に基本に立ち返り、コミュニケーションのスキルアップをめざしましょう。	
3	9月1日(土)	10:00 ～12:00	【今、なぜ体験が必要なのか】 NPO 法人生涯学習サポート兵庫 理事長 山崎 清治	尼崎市立すこやかプラザ(50名)
		内 容	目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力、これらは非認知能力と呼ばれています。幼児期、児童期のあそびの中で育まれるものですが、ただ、あそびばいいというものではありません。どういう場を作ればいいのか、どう関わればいいのか、実際にあそびを通じて考えていきます。	
		13:00 ～15:00	【児童虐待とトラウマ】 兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長 亀岡 智美	
		内 容	児童虐待をめぐる問題は、わが国でも大きな課題となっています。それに伴って、虐待を受けた子どものこころのケアは大きな課題となっています。しかし、子どもの支援現場で培われてきた従来の対応方法では、これらの子どもたちが示すさまざまな問題行動や精神医学的な問題に十分対応できているとはいえない状況です。最近、トラウマの視点で虐待された子どもを理解し対応していこうという概念が注目されています。これらの知見を紹介しながら、虐待された子どものこころのケアの在り方を考えます。	

4	9月8日 (土)	10:00 ～15:00	【発達障害児への対応と発達を促す遊び～遊びで育む脳・カラダ・感覚～】 株式会社アニマシオン プレイジム 代表 太田 篤志	尼崎市立すこやかプラザ(50名)
		内 容	子どもたちの苦手なことの原因を知り、子どもの立場で共感的に理解・支援する考え方を学びます。また子どもたちのカラダや遊び心を育む遊びの考え方を、ワークショップを通して体験していきます。 【持ち物】 動きやすい服装・履物	
5	9月16日 (日)	10:00 ～12:00	【発達障害の世界を感じてみませんか～オリジナル画像を使って日常生活から具体的に～】 神戸市発達障害ピアカウンセラー 笹森 理絵	県立こどもの館(70名)
		内 容	外見ではわかりにくく、当事者の困り感を理解されにくい発達障害。しかし、適材適所、合理的配慮があれば、周囲となんら遜色のない能力を発揮することが出来るので、発達障害の特性や感じ方、対処方法を理解することが必要です。頭で考える理論的な話ではなく、発達障害について心で感じていきます。	
		13:00 ～15:00	【演劇的手法を用いた遊びによるコミュニケーション】 兵庫県立ピッコロ劇団 亀井 妙子 森 万紀 山田 裕	
		内 容	おにごっこや、ダルマさんが転んだなどの遊びを、演劇的手法を用いながら体験していきます。その中で、まわりとどのようにコミュニケーションをとるのか。表現力や瞬発力、創造性を刺激し、他者と創造する喜びを体験するワークショップです。 【持ち物】 動きやすい服装(裸足になるため、ストッキングやタイツは不可)、タオル、飲料水	
6	9月22日 (土)	10:00 ～12:00	【子どもの心がイキイキする運動あそび】 KOBE こどものあそび研究所 所長 小倉 和人	県立こどもの館(70名)
		内 容	子どもがあそびで生き生きとした表情をするのはどんな時?それは、子どもが主体的に遊んでいるとき、友だちとの関係性を深めているとき、共通の理解を示しているときなどではないでしょうか。そのような子どもの心がイキイキとする運動あそびをご紹介します。	
		13:00 ～15:00	【身近な草花あそび】 関西学院大学聖和短大講師 京都教育大学講師 山崎 春人	
		内 容	こどもの館の敷地を散歩しながら、伝承の草花遊びや保育に役立つ植物について学びます。また、木の枝や葉を使った簡単なクラフトをみんなで制作します。いろんな発見や気づきを楽しんでください。 【持ち物】 運動靴、長そで長ズボン、剪定ばさみ(持参可能な方)	

※ 午前の部、午後の部のどちらかのみ受講も可能です。

(第2、4回については一日受講となります。)

※ 必ず各講座の持ち物をご確認ください。